



2021年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月14日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東
 コード番号 6552 URL https://gamewith.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 執行役員 (氏名) 今泉 卓也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 (氏名) 伊藤 修次郎 TEL 03-5860-5698
 定時株主総会開催予定日 2021年8月25日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2021年8月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の連結業績（2020年6月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	2,880	△0.3	△209	—	△224	—	△217	—
2020年5月期	2,890	—	408	—	408	—	219	—

(注) 包括利益 2021年5月期 △215百万円 (-%) 2020年5月期 217百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	△12.07	—	△6.7	△5.2	△7.3
2020年5月期	12.23	12.05	6.5	10.7	14.1

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 -百万円 2020年5月期 -百万円

(注) 1. 2020年5月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年5月期の対前期増減率については記載していません。また、2020年5月期の自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

2. 2021年5月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	4,818	3,151	65.3	174.46
2020年5月期	3,829	3,353	87.5	186.50

(参考) 自己資本 2021年5月期 3,148百万円 2020年5月期 3,350百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	△392	△28	1,267	3,530
2020年5月期	437	△293	△167	2,684

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2022年5月期の連結業績予想（2021年6月1日～2022年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,193	10.9	133	-	130	-	79	-	4.39

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年5月期	18,295,900株	2020年5月期	18,217,900株
2021年5月期	251,235株	2020年5月期	251,191株
2021年5月期	18,022,208株	2020年5月期	17,939,260株

（参考）個別業績の概要

1. 2021年5月期の個別業績（2020年6月1日～2021年5月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	2,770	△3.3	△256	-	△265	-	△236	-
2020年5月期	2,864	△9.0	410	△49.2	413	△48.8	226	△67.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期	△13.11	-
2020年5月期	12.62	12.44

（注）2021年5月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	4,794	3,139	65.4	173.82
2020年5月期	3,832	3,360	87.6	186.90

（参考）自己資本 2021年5月期 3,136百万円 2020年5月期 3,357百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2021年7月14日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられます。個人消費についてもこのところ弱含んでおりますが、外出抑制により自宅で過ごす余暇時間でゲームを楽しむユーザーは引き続き増加傾向にあります。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、ゲーム情報メディア「GameWith」等にて、①ゲームを有利に進めるための情報を提供する「ゲーム攻略」、②ゲームを見つけるための情報を提供する「ゲーム紹介」、③専属のゲームタレント及びeスポーツ選手が動画プラットフォーム上で行う「動画配信」という主な3つのコンテンツの提供と充実を図ることに経営資源を投下することで、「GameWith」等のメディアの価値を高めてまいりました。

当社グループの事業は、上記コンテンツを「GameWith」等の利用者に提供し、そこに表示される広告枠を販売すること等により収益を得ております。当連結会計年度においては、期初から影響があった新型コロナウイルス感染症の影響も和らぎつつあり、広告出稿を控えていた企業も徐々に投稿を増やしてきました。しかし、2021年1月に発出された緊急事態宣言が延長されたこともあり、多くの企業において広告宣伝等のプロモーションの実施が控えられ、昨年4月の緊急事態宣言下ほどの影響はないものの、広告を受託する「GameWith」等においても影響が生じました。

このような環境下において当社グループは、家庭用ゲームやPCゲームの積極的な取り扱いに引き続き注力しただけでなく、基盤となるアプリゲームの攻略情報においてもユーザーの方々から大きな支持を得ることができました。また、注目されるeスポーツにおいては、選手の獲得だけでなく、ファンクラブの設立や物販等に着手するなど収益拡大や新たな収益モデルの確立に注力してきました。

また、当社グループは企業並びにサービスの認知度の向上を目的としたプロモーションを積極的に行ってまいりましたが、当第4四半期連結会計期間においてはプロモーション戦略の見直しを行うことで当初見込んでいた広告宣伝費の一部を削減いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,880百万円（前期比0.3%減）、営業損失は209百万円（前期は営業利益408百万円）、経常損失は224百万円（前期は経常利益408百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は217百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益219百万円）となりました。

なお、当社グループは「メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は4,818百万円となり、前連結会計年度末に比べ989百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が845百万円増加、未収還付法人税等が161百万円増加、未収消費税等が57百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,667百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,191百万円増加しました。これは主に、長期借入金が926百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が328百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は3,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円減少しました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が6百万円増加、資本準備金が6百万円増加したものの、親会社に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金217百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ845百万円増加し、3,530百万円となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は392百万円（前連結会計年度は437百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失を306百万円計上し、事業所閉鎖に伴う支出額が128百万円発生したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は28百万円(前連結会計年度は293百万円の支出)となりました。これは主に、敷金の回収による収入211百万円、敷金の差入による支出77百万円、有形固定資産の取得による支出73百万円及び資産除去債務の履行による支出56百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,267百万円(前連結会計年度は167百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の借入れによる収入1,500百万円、長期借入金の返済による支出245百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入12百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、今後もゲーム情報メディア「GameWith」等に継続的に経営資源を投下し、ユーザーに向けた有益なコンテンツの提供を行うことで「GameWith」等のメディアの価値を高め、引き続き事業拡大を図ってまいります。また、新型コロナウイルス感染症による市況への影響については引き続き考慮しつつ、2022年5月期はこれまで当社グループが築いた強みをより強化することに注力してまいります。

ゲーム攻略領域については、引き続き日本最大級のゲームメディア「GameWith」等を中心に、アプリゲームだけでなく、家庭用ゲームやPCゲームなどのコンシューマーゲームの攻略コンテンツを引き続き拡充することで収益の拡大に努めます。今後はこれらのサイトの膨大なトラフィックを活用したサービスを展開することで、マネタイズの多角化にも注力してまいります。

ゲーム紹介領域についても、ゲーム攻略領域と同様に、アプリゲームのプロモーションだけに留まらず、家庭用ゲームやPCゲームの紹介にも注力してまいります。特にPCゲームについては、マルチプラットフォームのゲームの増加により、ゲームが強くなりたいたいという理由でゲーミングPCを購入する人が増えていくと想定しております。そうしたユーザーの入り口に接点を持っていることが当社の強みであり、初めてゲーミングPCを購入した方向けのコンテンツを展開することにより、収益基盤の強化と持続的な成長を実現してまいります。

動画配信領域については、これまで強みであったゲーム攻略等の動画配信だけでなく、2021年5月期と同様に引き続きeスポーツ系動画に注力し、新たなゲームタイトルでのチャンネル立ち上げや、選手層の強化に取り組んでまいります。当社グループには多くの有名プロゲーマーが所属しており、これらのプロゲーマーによる動画配信はもちろん、ファンクラブの運営、物販といった様々な展開が可能です。このようにeスポーツは大きな可能性を秘めていますが、業界としてはまだ過渡期であり、これから大きな成長が見込める業界です。当社グループといたしましては、このeスポーツに注力することで収益の更なる拡充に努めてまいります。

以上に基づき、2022年5月期の業績予想につきましては、売上高3,193百万円(前期比10.9%増)、営業利益133百万円(前期は営業損失209百万円)、経常利益130百万円(前期は経常損失224百万円)、親会社に帰属する当期純利益79百万円(前期は親会社に帰属する当期純損失217百万円)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,684,857	3,530,036
売掛金	371,630	384,067
前払費用	55,659	49,353
未収消費税等	24,769	81,872
未収還付法人税等	—	161,850
その他	6,530	5,313
流動資産合計	3,143,448	4,212,495
固定資産		
有形固定資産		
建物	112,979	112,629
減価償却累計額	△78,718	△20,208
建物(純額)	34,260	92,421
工具、器具及び備品	74,262	87,373
減価償却累計額	△50,706	△56,873
工具、器具及び備品(純額)	23,556	30,500
有形固定資産合計	57,816	122,921
無形固定資産		
のれん	120,758	94,231
ソフトウェア	21	—
無形固定資産合計	120,779	94,231
投資その他の資産		
投資有価証券	124,474	145,296
敷金	260,175	125,755
繰延税金資産	122,402	117,712
その他	—	56
投資その他の資産合計	507,052	388,819
固定資産合計	685,648	605,973
資産合計	3,829,097	4,818,468

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,553	67,427
1年内返済予定の長期借入金	—	328,404
未払金	89,297	62,372
未払費用	116,043	106,811
未払法人税等	37,674	4,777
賞与引当金	104,599	109,408
資産除去債務	—	11,810
その他	31,356	22,273
流動負債合計	427,524	713,284
固定負債		
長期借入金	—	926,426
資産除去債務	47,973	27,685
固定負債合計	47,973	954,111
負債合計	475,497	1,667,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,385	549,625
資本剰余金	542,384	548,624
利益剰余金	2,467,050	2,249,481
自己株式	△200,073	△200,107
株主資本合計	3,352,746	3,147,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,935	445
その他の包括利益累計額合計	△1,935	445
新株予約権	2,788	3,004
純資産合計	3,353,599	3,151,072
負債純資産合計	3,829,097	4,818,468

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	2,890,152	2,880,080
売上原価	1,487,211	1,435,268
売上総利益	1,402,941	1,444,812
販売費及び一般管理費	994,753	1,654,611
営業利益又は営業損失(△)	408,187	△209,799
営業外収益		
受取利息	35	33
助成金収入	4,560	3,986
その他	1,014	799
営業外収益合計	5,609	4,818
営業外費用		
支払利息	20	4,054
投資事業組合運用損	2,447	12,710
為替差損	1,477	1,642
支払手数料	999	—
その他	289	698
営業外費用合計	5,235	19,105
経常利益又は経常損失(△)	408,562	△224,086
特別利益		
移転補償金	—	40,000
特別利益合計	—	40,000
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1,899
投資有価証券評価損	25,351	—
事業所閉鎖損失	44,992	120,083
特別損失合計	70,343	121,983
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	338,218	△306,069
法人税、住民税及び事業税	139,113	9,364
法人税等還付税額	—	△102,358
法人税等調整額	△20,203	4,493
法人税等合計	118,910	△88,500
当期純利益又は当期純損失(△)	219,308	△217,569
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	219,308	△217,569

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	219,308	△217,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,935	2,380
その他の包括利益合計	△1,935	2,380
包括利益	217,372	△215,188
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	217,372	△215,188
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	527,145	526,144	2,247,742	△118	3,300,913
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	16,240	16,240			32,480
親会社に帰属する当期純利益			219,308		219,308
自己株式の取得				△199,955	△199,955
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	16,240	16,240	219,308	△199,955	51,832
当期末残高	543,385	542,384	2,467,050	△200,073	3,352,746

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	—	1,122	3,302,036
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				32,480
親会社に帰属する当期純利益				219,308
自己株式の取得				△199,955
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,935	△1,935	1,666	△269
当期変動額合計	△1,935	△1,935	1,666	51,563
当期末残高	△1,935	△1,935	2,788	3,353,599

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	543,385	542,384	2,467,050	△200,073	3,352,746
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	6,240	6,240			12,480
親会社に帰属する当期純損失(△)			△217,569		△217,569
自己株式の取得				△34	△34
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	6,240	6,240	△217,569	△34	△205,123
当期末残高	549,625	548,624	2,249,481	△200,107	3,147,623

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1,935	△1,935	2,788	3,353,599
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				12,480
親会社に帰属する当期純損失(△)				△217,569
自己株式の取得				△34
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,380	2,380	215	2,596
当期変動額合計	2,380	2,380	215	△202,526
当期末残高	445	445	3,004	3,151,072

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	338,218	△306,069
減価償却費	30,413	24,233
のれん償却額	12,068	26,526
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,612	4,809
投資有価証券売却損益(△は益)	-	1,899
投資有価証券評価損益(△は益)	25,351	-
投資事業組合運用損益(△は益)	2,447	12,710
受取利息	△35	△33
支払利息	20	4,054
助成金収入	△4,560	△3,986
移転補償金	-	△40,000
事業所閉鎖損失	44,992	120,083
売上債権の増減額(△は増加)	△30,316	△12,436
未収消費税等の増減額(△は増加)	163,442	△57,102
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,018	18,874
未払金の増減額(△は減少)	△9,109	2,509
未払費用の増減額(△は減少)	12,965	△9,231
その他	11,881	△2,116
小計	602,375	△215,273
利息の受取額	35	33
利息の支払額	△20	△4,528
助成金の受取額	4,560	3,986
移転補償金の受取額	-	40,000
事業所閉鎖に伴う支払額	-	△128,742
法人税等の支払額	△169,735	△88,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	437,214	△392,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,401	△73,907
投資有価証券の取得による支出	△66,428	△42,910
投資有価証券の売却による収入	-	10,056
事業譲受による支出	△200,000	-
敷金の差入による支出	△23,722	△77,260
敷金の回収による収入	3,046	211,696
資産除去債務の履行による支出	-	△56,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,505	△28,551
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,500,000
長期借入金の返済による支出	-	△245,170
自己株式の取得による支出	△199,955	△34
新株予約権の行使による株式の発行による収入	32,480	12,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,475	1,267,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	△308	△680
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,074	845,179
現金及び現金同等物の期首残高	2,708,931	2,684,857
現金及び現金同等物の期末残高	2,684,857	3,530,036

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額	186.50円	174.46円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	12.23円	△12.07円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	12.05円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,353,599	3,151,072
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,788	3,004
(うち新株予約権(千円))	(2,788)	(3,004)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,350,811	3,148,068
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	17,966,709	18,044,665

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期損失(△)(千円)	219,308	△217,569
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期損失(△)(千円)	219,308	△217,569
普通株式の期中平均株式数(株)	17,939,260	18,022,208
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	263,106	－
(うち新株予約権(株))	(263,106)	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第7回新株予約権 普通株式 190,000株	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。